



『 子は親の鏡 』（ 家庭教育の大切さ ）

11月6日(水)に来年度入学生の就学時健康診断が行われ、併せて保護者を対象とした「子育て学習講座」が開かれました。配付資料に、今年も、ドロシー・ロー・ノルト著の「子どもが育つ魔法の言葉」からの引用文が掲載されました。

お子さんの健やかな成長のために、親の関わり方の重要性を伝えている言葉です。
災害があり、様々な面でなかなかゆとりのもてない状況にある保護者の皆様も多いと思います。「子どもが育つ魔法の言葉」で参考になるものがあれば、お子さんとの時間(関わり)に生かしていただければと思います。

『 子は親の鏡 』 [「子どもが育つ魔法の言葉」(ドロシー・ロー・ノルト著)より]

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる
「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる
子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる
親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる
叱りつけてばかりいると、子どもは、「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
広い心で接すれば、キレる子にはならない
誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
和気あいあいとした家庭で育てれば、
子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

